

エコアクション 2.1 環境活動レポート 2015

株式会社 武揚堂

対象期間 2014 年 10 月～2015 年 9 月

発行年月日 2015 年 10 月 31 日

1. 組織の概要と対象範囲

(1) 企業名および代表者

株式会社武揚堂 代表取締役 小島 武也

(2) 所在地

本 社 ：東京都中央区日本橋 3－8－1 6 (TEL：03-3271-2451)
目黒事業所 ：東京都目黒区碑文谷 1－3－2 5 (TEL：03-3714-7431)
大 阪 支 店 ：大阪府大阪市中央区内本町 1－2－1 3 (TEL：06-6941-4911)
北陸営業所 ：新潟県新潟市江南区東船場 3－2－3 (TEL：025-382-6331)
仙台営業所 ：宮城県仙台市青葉区二日町 1 3－3 0 (TEL：022-222-8781)

(3) 会社ホームページ

<http://www.buyodo.co.jp>

(4) 環境管理責任者氏名および連絡先

環境管理責任者 緑川 浩紀 (TEL：03-3714-7431)

(5) 事業活動の内容

地図印刷、一般印刷、現地調査、電子地図作成、屋外広告施工、Web 制作

(6) 認証・登録の対象範囲

株式会社 武揚堂を対象範囲とする

(7) 対象範囲拡大の方針およびスケジュール

認証登録後、初回更新審査時に、本社、大阪支店、北陸営業所を含む全事業所に認証・登録の対象範囲を拡大した。

事業所	従業員数	主な事業活動	認証・登録
本社	0 名	※登記上の本社所在地であるが、現在実質的な本社機能は目黒事業所にある	対象
目黒事業所	61 名	本社機能(代表者が常駐)、営業、制作、製造、車両 6 台	対象
大阪支店	9 名	営業、制作	対象
北陸営業所	5 名	営業、制作、車両 2 台	対象
仙台営業所	4 名	営業、車両 2 台	対象

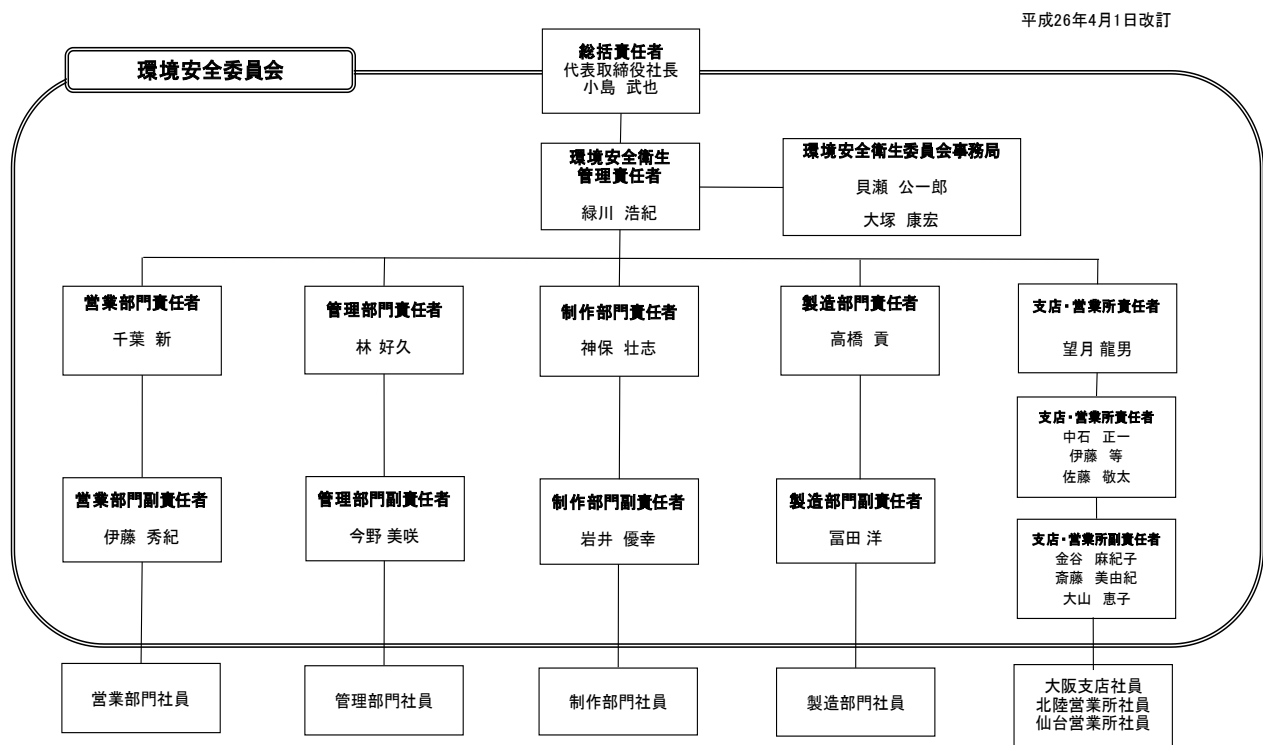
※従業員数は平成 27 年 9 月 30 日現在

【14-A-1】環境活動レポート

(8) 事業規模

売上高	9.5 億円(平成 27 年 9 月度現在)
従業員数	79 名(正社員 71 名、パートタイマー・アルバイト社員 8 名)
敷地面積	2022.34 m ² (本社：145.83 m ² 、目黒事業所：1593.51 m ² 、大阪支店：117.35 m ² 、 北陸営業所：77.13 m ² 、仙台営業所：88.52 m ²)
車両台数	10 台
主要設備	オフセット印刷機、各種 DTP 用端末、大型インクジェットプリンター など

(9) 実施体制図および役割



社長	環境方針を策定する
	EA21の実行に必要な資源(人・物・金・情報)を用意する
	環境管理責任者を任命する
	EA21の全体的な取組状況を評価し、見直し、必要な指示を行う
環境管理責任者	環境経営システムを構築し維持する
	環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する
事務局	環境活動の予実管理を行い、数値のとりまとめを行う
	EA21委員会を開催する
	環境活動レポートを取りまとめ、作成する
環境安全衛生委員会	原則として月1回開催し、実施状況の確認と必要な措置を検討する
	全体的な見直しのために必要なデータを集計する
EA21各部門正副責任者	自部門の環境教育を推進する
	自部門の環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し推進する
社員	EA21部門責任者の管理・指導の下、環境活動を推進する

【14-A-1】環境活動レポート

(10) 環境活動レポートの公表の方法

- ① 当社ホームページに掲載し、公表します。
- ② 当社支店・事業所に書面で備え付け、閲覧に供します。
- ③ エコアクション 21 中央事務局ホームページに掲載し、公表します。

2. 環境方針

環境保全の理念

株式会社武揚堂は、今ある命と今後生まれくる命の為に、今ある地球環境をよりよい状態で次の世代に引き継ぐことが永続企業の使命の一つであることを深く認識し、今よりも更に豊かで安全な地球環境の実現に寄与するよう努めます。

環境行動指針

当社は地図印刷を主体とし、一般総合印刷、グラフィックサイン、GIS などを用いて顧客の問題を解決する事を事業活動としています。この事業活動を営むにあたり、以下の行動指針を定めます。

- ① 製品の企画・設計、原材料の調達、製品の製造から出荷、リサイクルおよび営業活動まで、環境に対する影響を常に配慮します。
- ② 環境目標を設定して環境負荷削減に取り組み、継続的改善を図ります。
- ③ 二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)を推進します。
- ④ 廃棄物の削減とリサイクル活動を推進します。
- ⑤ 総排水量削減を推進します。
- ⑥ 化学物質の適正管理を推進します。
- ⑦ 事務用品や原材料のグリーン購入を推進します。
- ⑧ エコプリンティングを推進します。
- ⑨ 関係する環境関連の法律、条例を遵守します。
- ⑩ 環境教育、掲示物を通して全従業員の環境意識の向上に努め、近隣及び社会との環境の調和を図ります。

平成 22 年 8 月 1 日

代表取締役 小 島 武 也

3. 環境目標と活動計画

当期目標

施行期間を 2014 年 10 月～2015 年 9 月とし、その目標設定の為に基準年を 2009 年 10 月～2010 年 9 月とした。目標設定は全社での数値記載となっている。

目標数値に関しては中期で固定しているため、その数値を使用することとしている。

(1) 二酸化炭素削減

総エネルギー消費量の削減を行うため、下記活動を継続的に実施する。

① 電力量削減

- ・ 電力使用量の把握(請求書より計算)
- ・ 昼休み時の消灯
- ・ エアコン温度の適正化(夏季 27℃・冬季 21℃)
- ・ PC 使用台数の削減・省エネ設定の実施
- ・ 印刷機を同時に立ち上げないなど、印刷機の適正運転管理

② ガソリン使用量削減

- ・ ガソリン使用量の把握(請求書より把握)
- ・ エコドライブの促進(運行記録より把握・教育)

	2013 年 10 月～ 2014 年 9 月実績		2014 年 10 月～ 2015 年 9 月目標	
	消費量	CO ₂ 排出量 (kg- CO ₂)	消費量	CO ₂ 排出量 (kg- CO ₂)
電力量(kW/h)	363,723	154,248	359,800	152,599
ガソリン(ℓ)	33,467	77,643	33,000	76,500
都市ガス(m ³)	502	1,111	505	1,119
CO ₂ 排出量 (kg- CO ₂)	-	233,003	-	230,278

【エネルギーの CO₂ 排出係数】

エネルギーの CO₂ 排出係数については、電力については環境省 HP に掲載されている「平成 20 年度の電気事業者別実排出係数・調整後排出係数等の公表について（お知らせ）」

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11956>)より事業者ごとに数値を引用して計算する。

都市ガスについては各事業者のホームページより最新年度の数値を引用して計算する。ガソリンに関しては環境省 HP に掲載されている「参考資料 温室効果ガス排出係数（デフォルト

【14-A-1】環境活動レポート

値)」2.32kg-CO₂/m³」を引用して計算する([http:// www.env.go.jp/earth/ondanka/suishin_g/08.pdf](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/suishin_g/08.pdf))。

本社・目黒事業所

電 力:平成 20 年度東京電力値:0.418kg- CO₂/kWh を使用

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11956>)

都市ガス:東京ガス都市ガスの CO₂排出係数:2.21kg-m³を使用

(<http://www.tokyo-gas.co.jp/env/data/category02.html>)

大阪支店

電 力:平成 23 年度関西電力値:0.414kg- CO₂/kWh を使用

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15912>)

都市ガス:使用せず

北陸営業所

電 力:平成 23 年度北陸電力値:0.546kg- CO₂/kWh を使用

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15912>)

都市ガス:平成 23 年度北陸ガス値 2.21kg- CO₂/m³を使用

(http://www.hokurikugas.co.jp/company/environment/calorific_value.html)

仙台営業所

電 力:平成 23 年度東北電力値:0.546kg- CO₂/kWh を使用

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15912>)

都市ガス:平成 23 年度仙台市ガス値 2.29kg- CO₂/m³を使用

(<http://www.gas.city.sendai.jp/faq/index.php#about02>)

(2) 廃棄物削減

資源浪費の防止とリサイクルを推進するため、廃棄物削減に関して下記活動を継続的に実施する。

- ・ 廃棄物排出量の把握(マニフェストから把握)
- ・ 分別の徹底
- ・ コピー用紙リサイクルの推進
- ・ 損紙の削減(予備紙・校正紙の使用枚数適正化、不良率の削減)
- ・ 資材(インキ、溶剤、現像液、湿し水)の適正使用・管理による廃棄物としての排出削減

目標値は、2009 年 10 月～2010 年 9 月実績を基準とし、中期計画で目標数値を設定したものを使用している。

【14-A-1】環境活動レポート

種別	※単位は kg	2013 年 10月～ 2014 年 9 月実績	2014 年 10月～ 2015 年 9 月目標
事業系一般廃棄物	一般廃棄物(生ゴミ等)	6,650	6,500
産業廃棄物	金属くず	443	400
	廃油	719	700
	廃フィルム	75	1,000
	廃プラ	11,490	10,800
	廃酸	847	780
	廃アルカリ	297	250
特別管理産業廃棄物	廃強アルカリ※	680	650

※特別管理産業廃棄物は、刷版現像に使用する現像機の廃液である。

(3) 総排水量削減

総排水量(生活用水)の削減のため、下記活動を継続的に実施する。

- ・ 総排水量の把握(請求書より把握*)

※単位はm ³	2013 年 10 月～ 2014 年 9 月実績	2014 年 10 月～ 2015 年 9 月目標
総排水量	920	948

(4) 化学物質の管理

化学物質の適正管理および使用量の把握を行うため、下記活動を実施する。

- ・ SDS の取得・保管
- ・ 化学物質(PRTR 対象物質)使用量の把握
- ・ 環境負荷の低い化学物質を使用する資材への変更の検討

(5) マテリアルフローの把握

資源浪費の防止と生産効率の向上のため、マテリアルフローの把握を下記のマテリアルについて実施する。

- ・ 印刷用紙購入量・使用量の把握(重量に関しては用紙連量÷1,000=用紙 1 枚あたりの重量(kg)×使用枚数で求める。)
- ・ 刷版購入量・使用量の把握
- ・ インキ購入量・使用量の把握

【14-A-1】環境活動レポート

(6) リサイクルの増大

リサイクルに関しては量を目標とせず、把握に努めることとした。

種別	※単位は kg	2013 年 10～ 2014 年 9 月実績	2014 年 10～ 2015 年 9 月目標
リサイクル	紙(印刷用紙)	69,224	69,000
	紙(新聞・ダンボール)	5,010	7,300
	紙(雑誌)	1,330	2,400
	紙(その他)	2,140	3,600
	刷版	7,788	8,400

(7) グリーン購入の促進

環境負荷の低減と、環境経営に取り組んでいる企業を支援するため、できるだけグリーン購入法対象製品の購入を促進する。まずは対象品目の把握に努める。

中期目標

全社中期環境目標 (全て総量管理による)

方針	取組	目標(2016年度) 2015年10月～ 2016年9月	目標(2017年度) 2016年10月～ 2017年9月	目標(2018年度) 2017年10月～ 2018年9月	目標(2019年度) 2018年10月～ 2019年9月	目標(2020年度) 2019年10月～ 2020年9月
CO2の削減	電気使用量の削減(kw)	356,202	352,640	349,114	345,622	342,166
	ガソリン使用量の削減(l)	32,670	32,343	32,020	31,700	31,383
	ガス使用量の削減(m³)	500	495	490	485	480
リサイクル	紙(印刷用紙)	68,310	67,627	66,951	66,281	65,618
	紙(新聞・段ボール)	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
	紙(雑誌)	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
	紙(その他)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	刷版(kg)	8,316	8,233	8,151	8,069	7,988
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	6,435	6,371	6,307	6,244	6,182
	金属くず(kg)	396	392	388	384	380
	廃油の削減(kg)	693	686	679	672	665
	廃フィルムの削減(kg)	990	980	970	961	951
	廃プラの削減(kg)	10,692	10,585	10,479	10,374	10,270
	廃酸の削減(kg)	772	764	757	749	742
	廃アルカリの削減(kg)	248	245	243	240	238
	廃強アルカリの削減(kg) (特別管理産業廃棄物)	644	637	631	624	618
水使用量の削減	総使用水量の削減(l)	898	889	880	871	862

※2015 年度より基準年より5ヶ年が経過したため過去2年度(平成12年度、平成13年度)の平均値に基づき新たな5ヶ年計画の基準となる目標値を作成した。

4. 実績と評価

(1) 認証・登録に向けての取り組み経緯

現在世界的に環境に対する企業活動の影響について注目されることが多くなり、環境への対応を怠ること自体が企業存続のリスクとなってきている。また、企業活動は地球やそこに存在する生命から恵みを与えられ、かつ多大な影響を与えている。

経営上のリスクを減少させ、今ある地球環境を次の世代にもよりよい形でつないでいく為、さらに企業と生きとし生けるものとの共存・共栄を図るためにも、環境マネジメントの導入が必要であると判断した。

2009年10月～2010年9月までを基準年として削減率をかけて目標としてきたが、2014年10月に過去3年間の実績に基づいて目標値の見直しを行い、新たに作成した目標値で2014年10月～2015年9月の施行結果に対する評価を行い、本レポートを取りまとめた。

(2) 環境負荷の実績

① 総エネルギー量削減（CO₂排出量対比）

	2014年10月～2015年9月 目標		2014年10月～2015年9月 実績		削減率
	消費量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	消費量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	
電力量(kw/h)	359,800	152,599	344,958	146,333	4.1%
ガソリン(ℓ)	33,000	76,560	31,432	72,921	4.7%
都市ガス(m ³)	505	1,119	329	729	34.8%
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	—	230,278	—	219,983	4.4%

② 廃棄物削減

種別	※単位は kg	2014年10月～ 2015年9月 目標	2014年10月～ 2015年9月 実績	削減率
一般産業廃棄物	一般産業廃棄物(生ごみ等)	6,500	7,304	-12.3%
産業廃棄物	金属くず	400	614	-53.5%
	廃油	700	292	58.3%
	廃フィルム	1,000	0	100%
	廃プラ	10,800	7,870	27.1%
	廃酸	780	456	41.5%
	廃アルカリ	250	96	61.6%
特別管理産業廃棄物	廃強アルカリ(刷版現像液)	650	575	11.5%

③ 総排水量削減

※単位は m ³	2014年10月～ 2015年9月 目標	2014年10月～ 2015年9月 実績	削減率
総排水量	948	810	14.6%

【14-A-1】環境活動レポート

④ 化学物質の管理(この報告書では該当化学物質を1リットル以上使用しているものを表示)

PRTR 該当物質(単位はℓ)	2009年10月～ 2010年9月実績	2010年10月～ 2011年9月実績	2011年10月～ 2012年9月実績	2012年10月～ 2013年9月実績	2013年10月～ 2014年9月実績	2014年10月～ 2015年9月実績
ヒドロキノン	4.67	8.79	12.74	7.35	7.84	0
キシレン	75.90	98.66	103.03	23.814	0	0
1,3,5 トリメチルベンゼン	243.17	130.95	95.4	22.05	0	0
ナフタレン	3.82	0	0	0	0	0
クロロトルエン	203.28	0	0	0	0	0
1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン	47.52	0	0	0	0	0
ジクロロペンタフルオロプロパン	9.24	0	0	0	0	0
ジクロロメタン	2.52	0.84	0.84	0	0	0
エチルベンゼン	0.04	0	0	0	0	0
ポリノニルフェニルエーテル	0.10	0	0	0	0	0

※PRTR 法の基準とは異なり、弊社独自の視点から下限以下でも把握をしている。

⑤ マテリアルフローの把握(2014年10月～2015年9月)

※単位は kg	購入実績	使用実績	廃棄・リサイクル
印刷用紙	386,379	386,379	69,468
刷版	6,776	6,752	8,025
インキ	2,601	2,676	292

⑥ リサイクルの増大

種別	※単位は kg	2014年10月～ 2015年9月 目標	2014年10月～ 2015年9月 実績	増加率
リサイクル	紙(印刷用紙)	69,000	69,468	1%
	紙(新聞・段ボール)	8500	5,340	-37.2%
	紙(雑誌)	2,250	2,060	-8.4%
	紙(その他)	4,000	2,690	-32.8%
	刷版	8400	8,025	-4.5%

⑦ グリーン購入の促進

グリーン購入の基準を設定した。

(3) 環境活動計画の取り組み結果とその評価、前年度の繰り越し状況および次年度の取り組み内容

今年度は、過去の反省に基づき環境マネジメントシステムの社内への浸透及びBCPへの取り組みの具体化と継続を目的とした「環境安全衛生委員会」を4月より立ち上げ月1回の委員会で現状の問題点及び課題等について協議を行い、具体的な取り組みを行っている。次年度についても「環境安全衛生委員会」を中心とした取組みにより社内への環境マネジメントシステム浸透及び行動計画の具体化を図っていく。

【14-A-1】環境活動レポート

昨年度課題	解決状況
エコプリンティングの教育を開始し、顧客への提案を行っていく	昨年同様まだ教育自体が進んでいないということと、実際の提案までいたっていない。
EA21 運営体制の変更	環境安全衛生委員会を組織して取り組んでいる。

今年度は、昨年度に比較して全体的には CO₂ 排出量を 5.0%削減することができた。要因としては、ガソリンの使用量は昨年度に比較して 3.0%ほど増加したが、電気の使用量が 8.3%削減した結果である。環境マネジメントシステムの取り組みが徐々に社内に浸透してきた結果として捉えるのは時期尚早とは思いますが、環境安全衛生委員会による取り組みによる一定の効果は出てきていると思われるので、今後も環境安全衛生委員会による取り組み強化を図っていきたい。

また、全体の CO₂ 排出量が 5.0%削減した反面ガソリンの CO₂ 排出量は昨年度と比較して 3%上昇している。昨年度と比較して車両数は変化していないにもかかわらずガソリンの使用量が増加している要因について分析するとともに、営業エリアの見直しについて今後検討していく。

5. 法令順守

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果

環境法令を当社の関係する主要な関係法令は、以下の通りである。これらの関係法令に基づく管理、規制基準の遵守、届出等の状況を確認した結果、いずれも適切に実施されていると評価した。

法規制等の名称	遵守内容	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物は全て産廃業処理者に委託して処理 排出量はマニフェストにて管理・保管(5年間) 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
大気汚染防止法	法定基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	第一種フロン類回収業者への回収委託及び点検	遵守
騒音規制法	印刷機の届出・騒音測定 規制基準の遵守	遵守
振動規制法	印刷機の届出 規制基準の遵守	遵守
消防法	自衛消防隊の編成 自衛消防訓練の実施	遵守
PRTR 法	指定化学物質の排出量の把握および届出	遵守
東京都環境確保条例	排出基準の遵守	遵守
目黒区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正処理に関する条例	規制基準の遵守	遵守
中央区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	規制基準の遵守	遵守
大阪府生活環境の保全等に関する条例	規制基準の遵守	遵守
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例	規制基準の遵守	遵守
新潟県環境基本条例	規制基準の遵守	遵守

【14-A-1】環境活動レポート

新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	規制基準の遵守	遵守
宮城県環境基本条例	規制基準の遵守	遵守
仙台市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	規制基準の遵守	遵守

(2) 違反、訴訟等の有無

上記関連法規を理解・遵守し運営している。なお、過去3年間関係当局より違反の指摘は無い。
また、外部からの苦情及び訴訟も無い。

6. 代表者による評価と今後の進め方

(1) 代表者(社長)による評価

今期CO₂排出量の削減自体は達成できたが、計画的な運用による削減よりは営業不振による活動量の低下が主因で有ると判断している。今後更なるCO₂削減を行うためには、社内全体への環境意識の浸透と、個別具体的な施策が必要になる。

廃棄物の削減に関しては概ね実現している。しかしながら、一部にて増加しているものがあり、特に一般廃棄物に関しては増加しているので、内訳を把握していく事とする。

リサイクルに関しては社内作業の量が減少したため、排出量が減少しその分リサイクル量も減少している。化学物質に関しては資材の見直しにより、含有量をゼロとすることが出来た。

取り組み当初に比べれば浸透はしているが、まだ最低限のレベルが許容範囲まで上がっていないので、その教育は必須である。委員会メンバーへの教育による底上げと、全社的な教育の取り組みの二点を行うようにしていく。

(2) 見直しの結果と今後の進め方

2016年度の取り組みとしては、ガソリンの削減をまず主要な取り組みとしていく。燃費の把握から始める。把握する主体は管理部とし、時系列および他者との比較で燃費の状況を把握し、改善指導を行っていく。

また、無駄な営業を行わないように、営業プロセスの可視化を行っていく。車載カメラの導入やアプリの導入で管理を行っていく。

ゴミの分別に関しては現状よりも細かく行うようにしたので、継続していく事と定期的に分別の確認を行うようにしていく。

リサイクルに関しては現状の延長線ではなく、更にリサイクルを進められないかを確認していきたい。具体的にはインキ缶のリサイクル化を第一目標とし、その他の資材もリサイクルできないかを調査していく事とする。

各事業所年間目標

方針	取組	2015 年度(2014 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日)					
		全社	目黒事業所	本社 (日本橋)	大阪支店	北陸 営業所	仙台 営業所
CO ₂ の削減	電気使用量の削減(kw)	359,800	300,000	23,000	19,000	9,200	8,600
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	33,000	17,000	0	600	7,000	8,400
	ガス使用量の削減(m ³)	505	440	0	0	30	35
リサイクル	ヤレ紙の削減(kg)	69,000	69,000	0	0	0	0
	紙(新聞・段ボール)(kg)	8,500	8,500	0	0	0	0
	紙(雑誌)(kg)	2,250	2,250	0	0	0	0
	紙(その他)(kg)	4,000	4,000	0	0	0	0
	刷版(kg)	8,400	8,400	0	0	0	0
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	6,500	6,500	0	0	0	0
	金属くず(kg)	400	400	0	0	0	0
	廃油の削減(kg)	700	700	0	0	0	0
	廃フィルムの削減(kg)	1,000	1,000	0	0	0	0
	廃プラの削減(kg)	10,800	10,800	0	0	0	0
	廃酸の削減(kg)	780	780	0	0	0	0
	廃アルカリの削減(kg)	250	250	0	0	0	0
	廃強アルカリの削減(kg) (特別管理産業廃棄物)	650	650	0	0	0	0
水使用量の削減	総使用水量の削減(ℓ)	907	800	65	0	42	0
CO ₂ 排出量	電気(CO ₂ -kg/kw)	152,599	125,400	9,614	7,866	5,023	4,696
	ガソリン(CO ₂ -kg/ℓ)	76,560	39,440	0	1,392	16,240	19,488
	ガス(CO ₂ -Kg/m ³)	1,119	972	0	0	66	80
	合計	230,278	165,812	9,614	9,258	21330	24,264

※ 数値は2009年10月～2010年9月の実績を基準とする

※2012 年度より全社に拡大した為、基準年度の目標数値も遡って全社的に変更した。

各事業所昨年度実績

方針	取組	2014 年度(2013 年 10 月 1 日～2014 年 9 月 30 日)					
		全社	目黒事業所	本社 (日本橋)	大阪支店	北陸 営業所	仙台 営業所
CO ₂ の削減	電気使用量の削減(kw)	363,827	302,742	23,972	19,129	9,304	8,680
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	33,998	17,408	0	450	7,490	8,650
	ガス使用量の削減(m ³)	501	449	0	0	29	23
リサイクル	ヤレ紙の削減(kg)	69,224	69,224	0	0	0	0
	紙(新聞・段ボール)(kg)	5,010	5,010	0	0	0	0
	紙(雑誌)(kg)	1,330	1,330	0	0	0	0
	紙(その他)(kg)	2,140	2,140	0	0	0	0
	刷版(kg)	7,788	7,788	0	0	0	0
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	6,650	6,650	0	0	0	0
	金属くず(kg)	443	443	0	0	0	0
	廃油の削減(kg)	719	719	0	0	0	0
	廃フィルムの削減(kg)	75	75	0	0	0	0
	廃プラの削減(kg)	11,490	11,490	0	0	0	0
	廃酸の削減(kg)	847	847	0	0	0	0
	廃アルカリの削減(kg)	318	318	0	0	0	0
	廃強アルカリの削減(kg) (特別管理産業廃棄物)	680	680	0	0	0	0
水使用量の削減	総使用水量の削減(ℓ)	918	808	70	0	40	0
CO ₂ 排出量	電気(CO ₂ -kg/kw)	154,305	126,546	10,020	7,919	5,058	4,739
	ガソリン(CO ₂ -kg/ℓ)	78,875	40387	0	1,043	17,377	20,068
	ガス(CO ₂ -Kg/m ³)	1,109	992	0	0	64	53
	合計	234,289	167,925	10,020	8,962	22,521	24,860

各事業所今年度実績

方針	取組	2015 年度(2014 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日)					
		全社	目黒事業所	本社 (日本橋)	大阪支店	北陸 営業所	仙台 営業所
CO ₂ の削減	電気使用量の削減(kw)	344,958	290,990	19,569	17,142	9,036	8,221
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	31,432	16,301	0	1,467	6,535	7,129
	ガス使用量の削減(m ³)	329	279	0	0	27	23
リサイクル	ヤレ紙の削減(kg)	69468	68028	0	1,440	0	0
	紙(新聞・段ボール)(kg)	5,340	5,340	0	0	0	0
	紙(雑誌)(kg)	2,060	2,060	0	0	0	0
	紙(その他)(kg)	2,690	2,690	0	0	0	0
	刷版(kg)	8,025	8,025	0	0	0	0
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	7,304	5,475	0	1,710	119	0
	金属くず(kg)	614	614	0	0	0	0
	廃油の削減(kg)	292	292	0	0	0	0
	廃フィルムの削減(kg)	0	0	0	0	0	0
	廃プラの削減(kg)	7,870	7,870	0	0	0	0
	廃酸の削減(kg)	456	456	0	0	0	0
	廃アルカリの削減(kg)	96	96	0	0	0	0
	廃強アルカリの削減(kg) (特別管理産業廃棄物)	575	575	0	0	0	0
水使用量の削減	総使用水量の削減(ℓ)	810	732	40	0	38	0
CO ₂ 排出量	電気(CO ₂ -kg/kw)	146,333	121,634	8,180	7,097	4,934	4,489
	ガソリン(CO ₂ -kg/ℓ)	72,921	37,819	0	3,403	15,161	16,538
	ガス(CO ₂ -Kg/m ³)	729	617	0	0	60	53
	合計	219,983	160,069	8,180	10,500	20,154	21,080